

のと思われる。

(2)は燃えさしで、上端部に一文字分の墨痕が確認できる。

(3)は上下端と左半分を欠く。表裏ともに入念な調整が施され、断

面形がレンズ状に仕上げられている。表面中程に「人」と読める墨痕が認められるが、前後の文字は不明である。裏面の墨は流れており、四文字分が浮き上がつて見えるが解説できない。

(4)は三片に折損し、下端を欠く。破片どうしは直接接合せず、木目の状態から順番を推定した。表面には明瞭に浮き上がつた文字が見えており、一定の期間、屋外で風霜に曝される状態にあった呪符と思われるが、なお検討を要する。これに対しても裏面は、よく調整された面に墨が残り、下から二文字目の「人」が確認できる。

(5)は右端と上部を欠く。表面は、(3)(4)と同様に三文字分が浮き上がりで見え、一番下の文字が「人」と読める。裏面にも二文字分程の極めて微細な浮き上がりが認められるが解説できない。

(1)～(5)は全てヒノキ材である。なお、釧文は肉眼観察によるもので、今後赤外線テレビカメラなどによる観察による変更もあり得る。

#### 9 関係文献

田中弘志「岐阜県弥勒寺遺跡群」（考古学研究』五〇一、二〇〇三年）

（田中弘志）

## 木簡研究第一四号

卷頭言－情報化と松と檜－

東野治之

二〇〇一年出土の木簡

概要 平城京東市跡推定地 藥師寺旧境内 旧大乘院庭園 東大寺

藤原宮跡 藤原京跡左京一條二坊

藤原京跡左京六条二坊・七条二坊

石神遺跡 飛鳥池遺跡 長岡京跡 平安京跡右京六条三坊七・八・九

十町 佐山遺跡（B2地区） 大坂城跡 東心斎橋一丁目所在遺跡

広島藩大坂藏屋敷跡 鬼虎川遺跡 上津島遺跡 上町東遺跡 六条遺

跡 明石城 武家屋敷跡 溝之口遺跡 赤穂城跡二の丸 志賀公園遺跡

下 tess 遺跡 仁田館遺跡 史跡建長寺境内 宮町遺跡 柳遺跡 八角堂

遺跡 柿田遺跡 八幡遺跡群社宮司遺跡 荒田目条里制遺構・砂畠遺

跡 泉廢寺跡（陸奥国行方郡衙） 中野高柳遺跡 市川橋遺跡 仙人

西遺跡 十二社B遺跡 觀音寺廢寺跡 本荘城跡 北遺跡 盤若台遺

跡 高間（六）遺跡 福井城跡 畠田・寺中遺跡 北中条遺跡 指江

B遺跡 四柳白山下遺跡 寺地遺跡 岩倉遺跡 六日町余川地内試掘

調査地点 北小脇遺跡 浦廻遺跡 船戸桜田遺跡 船戸川崎遺跡 出

雲国府跡 川入・中撫川遺跡 安芸云国分寺跡 南前川町一丁目遺跡

南斎院土居北遺跡 高知城伝下屋敷遺跡 中原遺跡 京田遺跡

一九七七年以前出土の木簡（二四）平城宮跡

釧文の訂正と追加（五）

荒田目条里遺跡（一七号） 飯塚遺跡（二三号）

古尾谷知浩

但馬特別研究集会の記録

日高町の古代遺跡と出土木簡：加賀見省一、出石町の古代遺跡と木簡：小寺誠、袴狭遺跡出土木簡と但馬國豊岡盆地の条里：山本崇、九世紀の国郡支配と但馬國木簡：吉川真司、文書と題籠軸（報告要旨）：杉本一樹、討論のまとめ：館野和己・今津勝紀

彙報

頒価 五〇〇〇円 送料六〇〇円